

製造業における実践的生産管理

概要

多種多様なニーズや時代の流れに対応した商品を迅速に生産するために多品種少量生産への対応が求められる中で、最短工期・最小仕掛りの生産計画を充実させ、計画通りの生産を進めるための手法を習得します。

対象者

生産現場の品質管理業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

コース番号	日 程	時 間	日数	総時間	定 員	受講料(税込)
4M013	8/5(火)、8/6(水)	9:00~16:00	2日	12H	10人	9,000円

内 容

1. コース概用及び留意事項

- (1) 訓練の目的
- (2) 専門的能力の現状確認及び問題点の整理
- (3) 安全上の留意事項

2. 生産管理とは

- (1) 生産管理の概要
- (2) 各業務別管理の要点

3. 生産管理の実態

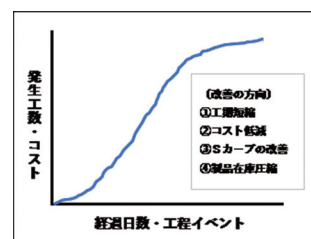
- (1) 製造企業の生産管理業務の考え方
 - イ. 経営者や組織管理者の考え方と問題点
 - ロ. 担当者の考え方と問題点
 - ハ. 生産管理業務運営の体制と問題点
- (2) 生産管理の問題点と改善方針
 - イ. 課題読み込み
 - ロ. 問題解決
 - ハ. 解決策の実践

4. 生産管理演習

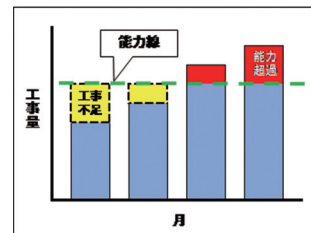
- (1) 生産期間短縮のための課題と具体化方針
- (2) 生産計画作成の課題と具体化方針 新QC7つ道具で整理
- (3) 即納を維持するための課題と具体化方針
- (4) 他部門と連携するための課題と具体化方針

5. まとめ

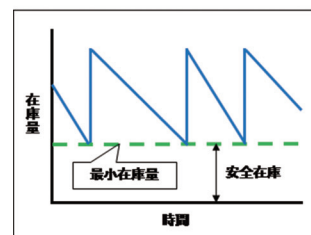
- (1) 訓練の目的及び専門的能力の現状確認
- (2) 講評・評価



【Sカーブ】



【生産能力と工事量山積み】



【定量発注方式の在庫変動パターン】

使用機器

パソコン、ホワイトボード、模造紙、付箋、マーカー、電卓

使用テキスト

市販テキスト

受講者持参品

筆記用具

講 師

北陸職業能力開発大学校 講師

ステップアップ

受講者の声

今後、社内で取り組んだら良いと思うことを考えることができた。

事業主の声

生産計画の見える化への工夫が見られた。